

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 高校教育指導課

担当名: 入学者選抜・教員研修担当

内線: 6767

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P22	採点業務等デジタル化推進事業			一般会計	教育費	高等学校費	高等学校総務費	高等学校入学志願者選考費	
事業期間	令和 7年度～	根拠法令	学校教育法施行規則第90条第5項		針路	05	未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール	4, 8
					分野施策	0504	質の高い学校教育の推進	SDGsターゲット	4-1, 4-6, 8-2, 8-5
1 事業概要 デジタル採点ソフト等の導入により、採点業務(入試学力検査、定期考査等)の業務改善や、ミスのない入学者選抜の実施を実現する。 採点業務等デジタル化推進事業 入札差金による減額 △8,405千円				5 事業説明 (1) 事業内容 採点業務等デジタル化推進事業 117,951千円 → 109,546千円 (開発・運用保守について債務負担行為を設定(令和8年度～令和11年度 限度額100,000千円)) (2) 事業計画 ア 定期考査や入学者選抜で効率化を図る。 イ 入学者選抜業務用PCを整備する。 ウ 令和9年度以降の入学者選抜業務の効率化を行うためのシステム開発を行う。 (3) 事業効果 ア 教員が生徒と向き合う時間を増加させる。 イ ミスのない入学者選抜を実施する。 ウ ミスのない入学者選抜を実施する。 【活動指標(アウトプット)】 デジタル採点ソフトを県立高校131校の入試選抜及び定期考査で活用 【成果指標(アウトカム)】 採点・入試選抜ミスゼロ 入試業務に係る業務時間50%削減(令和7年度)、75%削減(令和8年度)、80%削減(令和9年度) (4) その他 将来にわたって採点結果データを継続的に蓄積することにより、質の高い学習指導・進路指導が実現される。 (5) 補正予算の概要 入札差金による減額					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.0人=9,500千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△8,405							△8,405	109,546
現計額	117,951							117,951	

事業内訳書

事業名	採点業務等デジタル化推進事業		
単位事業名	採点業務等デジタル化推進事業	予算額	△ 8,405千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△8,405	—	
合計	△8,405	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△503	—	入札差金が生じたことによる入学者選抜処理用ソフトウェア開発委託の減額
使用料及び賃借料	△7,902	—	入札差金が生じたことによるデジタル採点ソフト、スキャナ及び入学者選抜処理用コンピュータ使用賃借料の減額
合計	△8,405	—	